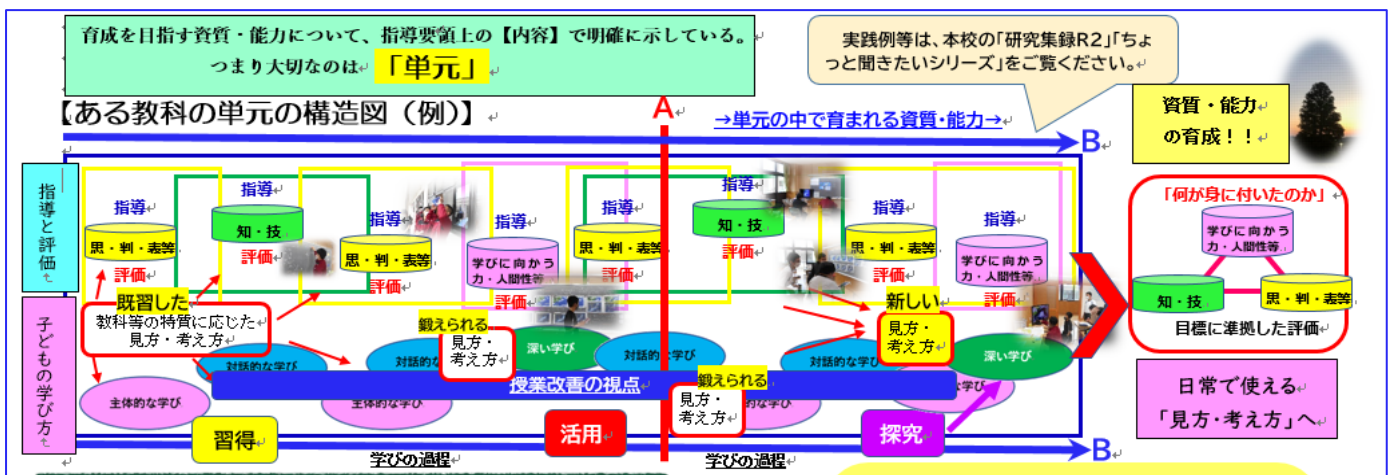


単元をデザインする単元案

▼単元について（単元の構造について詳しく知りたい方は「単元とは、一体どんな構造なのか」へ！！）



上記の図のように、1時間の授業（Aの視点）のみでは、本当に資質・能力を育むことができたのか、十分に考えられていない可能性があります。

だからこそ、単元のまとめ（Bの視点）で授業を捉え、観点別学習状況の評価、子どもの学びの視点に立った授業改善を行っていくことが、本当の子どもたちの資質・能力の育成につながります。



1時間の授業のみでは、子どもの学び、評価の両面において、その一部分しか切り取ることができないんだね。単元で見ることで、資質・能力の育成に向かう主体的・対話的で深い学びの授業展開、そして、子どもの学びの変容を評価することができるんだ！
授業を単元で考える必要性は分かったけど、実際に単元を構成する時のポイントはあるの？

単元をデザインするためのポイント

- ① 本校の育みたい資質・能力から、教科等の資質・能力へのつながり
- ② 単元における育む資質・能力の明確化
- ③ 教科等横断的な視点に立った資質・能力の明確化
- ④ 単元における評価規準 — いつ、どの資質・能力を育てていくか。
- ⑤ 授業改善の視点 — 単元構想における主体的・対話的で深い学びの意図的な設定
- ⑥ 子どもたちの学びの過程（習得、活用、探究）をデザイン
- ⑦ 単元間のつながり（教科内、教科等間）
- ⑧ 「何が身に付いたのか」観点別学習状況の評価と授業改善



これを全部考えて単元をつくるのは大変そう。。。

大変って思った方に朗報です！ 解決策は次のページで！

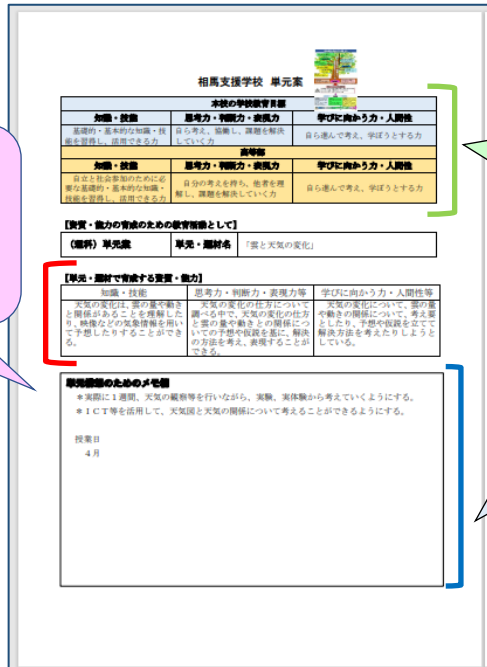
日々の業務だけでも忙しいのに、前ページ全てのポイントを頭の中で押さえながら、単元をつくり、実践していくのは大変ですよ。でも、そんな悩みを解決してくれるのが、**単元案**！！

本校は、8つのポイントを**シンプルかつ深く押さえながら**、日々の授業実践に取り入れることができる**単元案**を開発しました！！

資質・能力の明確化

②対応

各教科等を合わせた指導においても、各教科の単元における資質・能力の明確化



単元案①「資質・能力、単元構想メモ」

①対応

学校教育目標、学部目標の見える化。常に意識して、同じ方向を目指し、単元の資質・能力とのつながりを確認できる。

つながり

単元構想メモ欄を設定し、自由に記述。教員によって、使い方は様々。発想を広げる部分。

アイデア

④対応

3つの資質・能力をいつ、どの場面で育むのか、評価規準を設定。各教科等を合わせた指導においても、評価規準を設定することで、本時の指導では、どの教科のどの力を育むのかを明確にする。教科等横断的な視点に立った資質・能力についても、単元のどの場面で育成するのか明記。



単元案②「教科等横断的な視点に立った資質・能力、単元構想」

③対応

本単元において育成を目指す教科等横断的な資質・能力を明確化。言語能力を育みたい場合は、言語能力に○をつけて意識化！

⑤対応

資質・能力の育成主・対・深の場面や、その実現に向けた手立てを記載し、子どもが具体的にどのように学ぶかイメージ！

主・対・深

⑥対応

習得・活用・探究を意識した子どもの学びをイメージした単元構想

学びの過程

他教科との関連

⑦対応

他教科で、どんな単元を指導しているのか明記することで、教科間でのつながりを意識し、関連を図る機会を設定。

単元案②「単元構想」

改善

学習評価（子どもの学びの姿）をすることで、どのような単元構成なら、子どもの資質・能力を育むことができたのかといった授業改善、そして、それは教育課程等の改善にもつながる。

教育課程

⑧対応

観点別学習状況の評価を行うことで、子どもの学びの状況が分かり、授業改善に生かせる。また、学習終了後の学習評価（子どもの姿）は、各教科の段階における学びの習得状況の根拠となり、学びの履歴につながる。

【個別の指導目標及び単元での学習評価】	
本単元の指導目標	目標に関連した学習評価
① 知識・技能 ② 思考力・判断力・表現力等 ③ 学びに向かう力、人間性等	<p>① 知識・技能</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等</p> <p>③ 学びに向かう力、人間性等</p>
<p>① 知識・技能</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等</p> <p>③ 学びに向かう力、人間性等</p>	<p>① 知識・技能</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等</p> <p>③ 学びに向かう力、人間性等</p>

⑧対応

教科等横断的な資質・能力についても、本単元でどのように育むことができたのか、子どもたちの学びの姿から評価。

単元案③「学習評価」

まとめ

日々の業務の中で、たくさんのポイントを頭の中で整理して、単元を展開だけでは、漠然とした授業になってしまいます。

だからこそ、子どもたちの学び、育成したい資質・能力を踏まえ、単元を見える化、言語化して思考を整理しながら、単元を意図的にコントロールすることが必要です。その際に、単元案はとても役に立ちます！

本校でもたくさんの先生方が単元を作成しながら、日々の授業の充実に取り組んでいます。